

ニッポン



▽中央銀行制度の経済学—新制度経済学からのアプローチ— 富山銀行非常勤監査役・明治大学教授 折谷吉治著

本書では、「中央銀行は金融政策の運営主体であるべきか?」といった「組織ガバナンス問題」、世界金融危機の原因の一つに挙げられている金融機関の規制・監督体制など、中央銀行制度や組織

をめぐる諸問題を「新制度経済学」を用いて検証。また、日本銀行の行員として海外の中央銀行制度や決済システム構築に携わった著者の経験から、各国の中央銀行の決済システムのグローバル化について検証している。

(A5判、572ページ、税込7560円) 学術出版会 ☎03(3947)9153。